



広報 IZENA いぜん

伊是名島イメージキャラクター
尚阿王[®]



歴史の島 自然の宝庫 ハブのいない伊是名島

今月号の主な内容

村教育委員会と本部警察署が協定書締結
大自然の日高へ行ってきました!!
担い手積立年金
黒糖づくりにチャレンジ

伊是名 仲田 諸見内花 勢理客

	男	159	204	258	100	103	計	先月比
	女	158	214	188	82	100	742人	△15
	計	317	418	446	182	203	1,566人	△18
	世帯数	162	223	233	84	86	790	△17

村の人口【計 1,566人】平成26年1月31日現在

平成26年
No.517

3

村のホームページ

<http://vil.izena.okinawa.jp>

村教育委員会と本部警察署が協定書締結

2月27日

(木) 村産業支援センターにおいて、本部警察署(宮城正明署長)と村教育委員会(仲田允碩教育長)との間で「子どもを事件・事故から守る学校ゆいまーる活動制度」を締結する活動制



度」に関する協定の締結式が行われた。

刑法犯の認知件数は、平成14年をピークに半数以下にまで減少した。しかし、女性や子どもを対象にした犯罪は、被害者の心身に深い傷を及ぼし、地域住民に著しい不安を生じさせる。本部署では村教育委員会との連携をタイムリーに情報提供することにより、子どもたちへの脅威事案に対し、被害者対策や行為者への警告、保護者などへの注意喚起を迅速に対応する。そのことにより、被害の未然防止を目的としている。

締結にあたり仲田教育長は「幼児、児童、生徒が地域で安心・安全にはぐくむ環境づくりが大切。協定書を遵守し、迅速に対応したい。地域住民の目配りや駐在のパトロールも必要だと考えているので、皆様にも協力をお願いしたい。」と述べた。宮城署長か

らも「この活動を未来永劫続けることにより、犯罪抑止につなげたい。今回の締結を期に地域の方と連携をはかり、事件事故が未然に防げるよう協力をお願いしたい。」と話し、両氏とも、お互いに協力し合うことによって事件事故を未然に防げるとの認識で一致した。

子どもを対象とする前兆事案として「声かけ」「つきまとい」「痴漢」「公然わいせつ」などがあり、これらが確認され次第で相互連絡が必要とされている。子どもを守るためにも、地域住民の方々との連携が求められている。

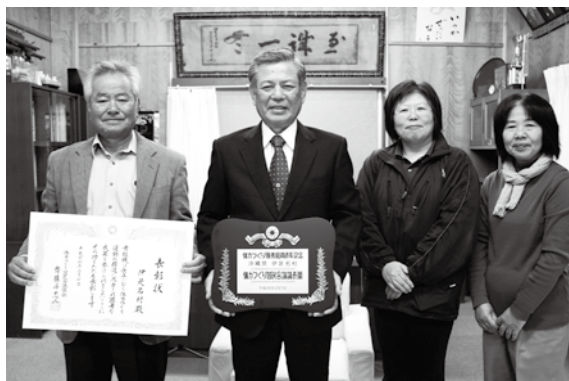


協定書を取り交わす宮城署長と仲田教育長

「体力づくり国民会議議長賞」受賞!!

この度、伊是名村は文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ振興課から、平成25年度体力づくり優秀組織表彰候補に推薦され、「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2014」において、体力づくり国民会議議長賞を受賞しました。

この賞は、長年にわたり体力づくり運動の推進に尽力し、顕著な成果を挙げた組織に授与されます。本村は平成23年3月に健康増進計画「いぜな88がんじゅうプラン」を策定し、「健康な村民がすむ村づくり」を目指して健康づくりに取り組んで参りました。ナイトウォーキングなどの体操教室、高齢者ゆんたくサロンの実施や、特定健診受診率の上昇(平成22年度38・2%→24年度51・0%)などの取り組みが評価され、受賞する運びとなりました。



今後ともこの賞に恥じぬよう、村民の皆様とともに健康づくりに励んでいきたいと考えております。



認知症サポーター養成講座

小・中学校編

2月25日(火)堀川美智子さんを講師に認知症サポーター養成講座が、小学校体育館で全校児童対象に行われた。

低学年でもわかりやすいように、ロールプレイで実例について演じた。自分の家にいるのに、別の家にいるので帰ろうと出て行ってしまうケースや、ご飯を食べたばかりなのにしばらくして忘れ、食べさせてくれというケースなどにはどのように対応したらよいのか実演された。堀川さんは「本人を怒ったり、否定することはしないでください。悲しんでいるのは本人です。」と、優しく対応することが大切だと話した。

同日、中学校において3年生にも講演を行い、「認知症のAさんではなく、Aさんは認知症」というように、その人を大切にしましょうという心のバリアフリーの考え方も伝えられた。最後に担任の平安山先生からも、「認知症の方だけでなく、妊婦さんや障害を持つ方へも同様の心を持つことが大切です。」と、卒業を控えた生徒へ教訓がありました。

なお、堀川さんは昨年12月には伊是名村職員を対象に講話を行っており、村内でのサポーターの輪が広がっている。

中学校での講話の様子



小学校での講話の様子



モズク操業祈願祭

2月17日(月)伊是名漁業協同組合(名嘉哲治組合長)において、今年のモズク操業祈願祭が伊是名漁協モズク加工所で村関係者生産者職員らで執り行われ、村の二次産業を担うモズクの豊作と作業員の安全を祈願した。今期のモズク操業は、水揚げ目標を1,500tと見込んでいる。生産者数は、44経営体ですでに10名の生産者で40トンの水揚げしている。早摘みモズクは、2月～3月中旬まで、太モズクは、3月中旬～5月末までの形態である。海草を担う産地として異物混入を防ぐことをテーマにして取り組んできた。その一環として昨年、最終選別処理場が完成し、消費者により安心・安全にモズクを供給する事が可能となった。



比嘉哲史(伊是名診療所)先生に感謝状!!

本部警察署(宮城正明署長)はこのほど、平成25年中に本部署管内の治安維持活動に大きく貢献された22人と、9団体を選出・発表し、村内では伊是名診療所医師の比嘉哲史先生が選ばれた。比嘉先生は村内における本部警察署伊是名駐在所の業務に理解と協力をされたとして、2月27日に村役場内において宮城署長より感謝状と警察活動協力功労盾が贈呈された。

村民への気配りも忘れず、急患での対応も迅速に行動する。お年寄りの方々からの信頼は厚く、村の医療業務にも貢献しています。



首里城公園の「舞への誘い」に出演 伊是名郷友芸能協会「通水」

沖縄観光
の名所首里
城では、毎週
4回と休日
に下之御庭
で観光客向
けに琉球舞
踊を披露し
ています。2
月5日に郷
友会の芸能



繋がり、後輩への大きな励みになります」と、また柳清本流の神田采愛子さんは、「皆和氣藹々と踊ることが出来て良かったです。」と感想を述べていました。また通水の東江糸雄会長は、「芸能協会を結成して3年目になる。今秋には第2回発表会を予定しており、積極的に会員の活躍の場を広げていきたい」と抱負を述べていました。

(字 諸見郷友会 名嘉山秀信)

協会「通水」の会員である玉城流翔節会前川美智子琉舞道場、柳清本流神田采愛子(さえこ)琉舞研究所の皆さんが出演しました。演目は島が発祥地である仲里節を始め、おなじみの四つ竹、本貫花、貫花の四題。観光客は初めて観る色彩鮮やかな琉球舞踊に異国情緒を感じている様子でした。中には幼少の頃、沖縄に住んでいたという静岡県在住の県出身者で70代の女性は、久しぶりに観るふるさとの舞踊を懐かしんでいました。

「舞への誘い」へ芸能協会通水が参加するのは、昨年末から3月まで6回となっており、3月には真境名本流の真境名あき琉舞道場が出演します。玉城流の前川美智子さんは、「芸能協会活動の更なる発展に



仲里節

セニアカーの走行に注意を!!

2月18日(火)産業支援センターにおいて、福祉用具として利用されているセニアカーの安全運転講習が行われた。もともと高齢者の間でゲートボールを行うときに、コートまでの移動に電動車いすが使用されていたのが始まりで、運転免許は不要。歩行が困難な高齢者に需要があり、村内でも所有者が増加傾向にある。

「歩行者」に分類されるため、通行する際は歩道を走らせなければならぬということ。走行が困難な歩道(狭い、急勾配で危険など)や歩道がない道路では、右側(車とは逆)を通行することになっている。このため、道路を通行する際に車や自転車などを運転する方も、セニアカーの走行に注意しながら思いやりの運転を心がけましょう。

この日は、約20名の方々が講習会に訪れ、講師の話に耳を傾けた。講習後には「充電の仕方はどのようにしたらよいですか」などの質問もあり、気になったことなども確認していた。講習終了後はセニアカーの無料点検も行われた。

なお、この講習会において最も注意した点は、セニアカーは道路交通法上

気になる所を点検してもらおう



利用者のほとんどが参加しました

大自然の日高へ行ってきました!!

“少年の翼”



伊是名村第20次少年の翼一行（団長：森元幹生校長、小学6年生児童16名、引率6名）は、2月17日～21日まで（4泊5日）の日程で北海道日高町の日高小学校との交流に臨んだ。「次代を担う本村児童に、北海道の広大な自然や文化を体験する機会を与え、日高小学校児童との交流を通して相互理解と友情を深める」、「集団宿泊学習の中において自主性や協調性を養うことにより、心豊かでたくましい『伊是名っ子』の育成を図る」を狙いとして行われた。

一日目は移動だけで、二日目の午前には基本的なスキー体験をして、午後からは日高小も加わり合同でスキー交流を行った。その後、スポーツや夕食なども交流し終了。三日目は日高小学校を訪れ、全体交流会が催された。出迎えた日高小に感謝の気持ちを込めて、エイサー、尚円太鼓を披露した。また、御礼として黒糖（別記事の4年生が作った黒糖）とサーターアンダギーをプレゼント。その後、給食なども共にした一行は、お別れ式終了後に日高小を後にした。

環境の違う土地での交流で楽しい思い出をつくり、日高小学校児童との友情が深められた素晴らしい旅となったことでしょう。



森元校長の生演奏も披露されました



氷で作られた灯籠は北国ならではの



スキーは上手に滑れたのでしょうか…



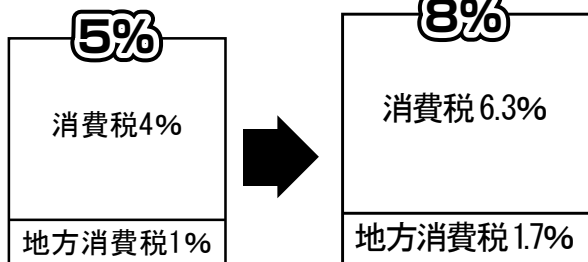
交流会場にて記念撮影(∇∇)

お知らせ

消費税率(国・地方)の引上げについて

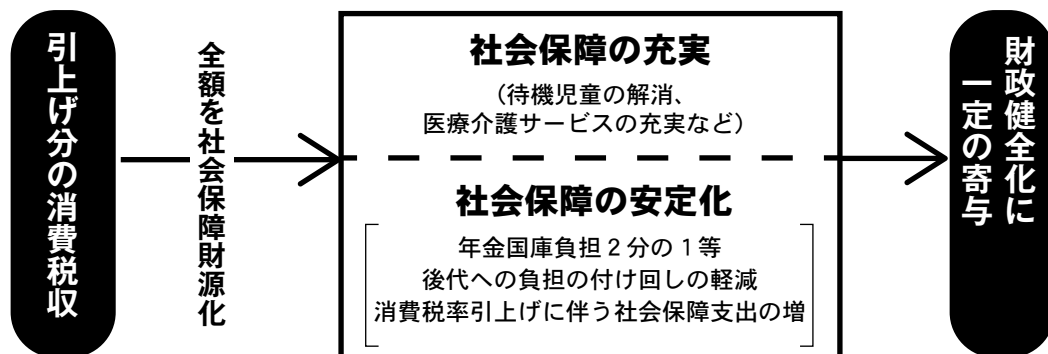
1 消費税率(国・地方)が引上げられます。

※地方消費税とは、国税である消費税と同様に、事業として行った商品の販売、サービスの提供等の国内取引や外国貨物の引き取りに対して課税される都道府県税です。※消費税率10%（消費税7.8%・地方消費税2.2%）への引上げについては、改めて経済状況等を総合的に勘案した検討を行います。



平成26年4月1日～

2 引上げ分の消費税率(国・地方)はすべて社会保障財源化されます。



3 円滑かつ適正な転嫁にご理解とご協力をお願いします。

○消費税率(国・地方)の引上げに当たって事業者の方々が円滑かつ適正に転嫁できるよう、転嫁、広告・宣伝、価格表示、便乗値上げ等に関する相談窓口又は情報受付窓口を設置しています。ご相談がある方は以下の窓口にお問い合わせください。

消費税率価格転嫁等総合相談センター 専用ダイヤル：0570-200-123

【受付時間】平日 9:00～17:00(平成26年3月・4月は土曜日でも受付)

※ お住まいの地域に応じて、右記の通話料金がかかります。

固定電話：8.5円～80円/3分間
携帯電話：90円/3分間
公衆電話：30円～220円/3分間

HP上の専用フォーム <http://www.tenkasoudan.go.jp> (24時間受付)

沖縄県の情報受付窓口
(平日8時30分～17時15分まで)

商工労働部中小企業支援課(転嫁関係) ☎098-866-2343
環境生活部県民生活課(広告・宣伝関係) ☎098-866-2187
総務部税務課(価格表示関係) ☎098-866-2101

お知らせ

家族揃って加入しましょう!交通災害共済 申し込み2月1日～

沖縄県町村交通災害共済組合は、県内の全町村で組織され「住民に対する交通災害共済事業」を行っております。本共済は、村住民が交通事故による災害を被った場合に適切な給付を行い、住民の生活の安全と福祉の増進に寄与するため、加入者一人ひとりが相互扶助協力の精神に基づき見舞金を支給する共済事業です。この趣旨を理解のうえ、ご加入下さるようお知らせします。

共済期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日まで 共済掛金：一人500円

加入された皆様は万が一、事故(自損事故含む)にあわれた場合、見舞金の請求に「事故証明」が必要となりますので警察へ届けてください。

問い合わせ 役場 総務課 ☎45-2001

お知らせ

～しっかり積み立て、がっちりサポート 安心で豊かな老後を～

～魅力いっぱい
農業者年金～

担い手積立年金

「愛称」

- ☆あなたの老後生活への備えは十分ですか？
- ☆年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です！
- ☆老後の備えは国民年金プラス**農業者年金**が基本です！



- ★国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方は誰でも加入できます。
- ★少子高齢化時代に強い積立方式の年金です。
- ★保険料の額は自由に決められます。(月額2万円～6万7千円)
- ★80歳まで保証がついた終身年金です。
- ★認定農業者など一定の要件を満たす方は、保険料の国庫助成があります。
- ★支払う保険料の全額が社会保険料控除の対象となるなど税制面でも特例が用意されています。

加入申し込みや相談については、JA伊是名支店 ☎45-2222 伊是名村農業委員会 ☎45-2004
又は、独立行政法人農業者年金基金 ☎03-3502-3942

お知らせ

総務課より 自動車抹消に関するお知らせ

村民の皆様へ 原付バイク・軽自動車及び普通乗用車の抹消手続きは3月31日までとなっております。車両の有無に関わらず、抹消せずに4月1日を過ぎると課税されますのでご注意ください。

～ 抹消手続きの方法 ～

■手続き
場所
(必要な物)

役場総務課

JA オート

JA オート

★原付・小型バイク：印鑑・ナンバープレート

★軽自動車：ナンバープレート・自動車検査証

★普通乗用車：ナンバープレート・自動車検査証・印鑑証明書・実印

※法人車両の抹消手続きは商業登記簿謄本(1通)が必要となります。

自動車の抹消についてはJAオートにて手続きが出来ますが、郵送日数等の関係上、今年度は**平成26年3月24日(月)まで**の受付となっておりますのでお知らせいたします。

問い合わせ
役場 総務課 税務係
☎45-2001

お知らせ

ニューいぜな運航時刻の変更について お客様へのご協力願い

フェリー「ニューいぜな」をご利用いただき感謝申し上げます。平成26年3月20日から3月31日の期間、「フェリーいへや」は新造船就航準備の為、「ニューいぜな」が就航致します。両村を一隻で就航するため、1日1便運航になります。***先月号に掲載した運航変更期間に変更がございます。お詫びして訂正致します。**

期 間：平成26年3月20日(木)～31日(月)
運航方法：1日1便運航
乗船券販売所及びフェリー桟橋は
平常通りそれぞれの場所を使用します。

住 伊是名発：9時00分 ▶ 運天港着：9時55分
復 運天港発：15時30分 ▶ 伊是名著：16時25分

フェリー「ニューいぜな」は安全点検のため、年1回定期検査(ドック)を行っています。その期間は、伊平屋村の「フェリーいへや」が就航いたします。両村を一隻で就航するため、1日1便運航になります。

期 間：平成26年4月13日(日)～24日(木)
運航方法：1日1便運航
乗船券販売所及びフェリー桟橋は
平常通りそれぞれの場所を使用します。

復 運天港発：11時00分 ▶ 仲田港着：12時05分
住 仲田港発：13時30分 ▶ 運天港着：14時35分

お問い合わせ先

仲田港ターミナル乗船券売場(伊是名運送)・・・☎0980-45-2002
運天港船舶連絡事務所(北部港運)・・・☎0980-56-5084
伊是名村観光振興課・・・☎0980-45-2534

保育園年間活動記

平成25年度も、保育所ではさまざまな催しが行われた。今月は、過去に行われた主な行事などで掲載できなかった活動写真をご紹介します。



12/7

お遊戯会

ダンス、劇など一生懸命練習した成果を披露した。



6/29

運動会

親子で元気いっぱい
楽しみながら汗をかけた。



2/3

節分

保育所ではいつもと違う雰囲気。そこへ現れたのは鬼4匹。怖さで大泣きしながらも、勇気を出して鬼に豆をぶつけ退治した。その後は歳の数以上に豆を食べた。



12/10

ムーチャーづくり

こどもの健康と安全を祈願するムーチャーにみんな挑戦した。楽しみながらつくったムーチャーにみんな大満足。



こした汁を
煮詰めていく



キビを搾って
汁を出す



容器に移して固まれば
完成(ノハ)ノ

2月7日(金)産業支援センターにおいて小学校4年生の児童達が、体験学習の一環で黒糖づくりに挑戦した。前日までにキビ刈りを終えて挑んだ初めての黒糖づくりに、時間を忘れて夢中になった。汁を煮詰めるのは時間がかかり、かき回すのも大変でしたが、完成した黒糖をほおばると疲れを忘れ笑顔になった。黒糖づくりは大成功し、みんなで作った黒糖は多くの方々へ配られた。

黒糖づくりに チャレンジ

島の暦 3月~4月上旬の行事予定

3/13(木)・高校合格発表

17(月)・幼稚園卒園式

19(水)・小学校卒業式

20(木)・小・中学校終了式・離任式

21(金)・春分の日(春のお彼岸)

25(火)・保育所卒園式

4/3(木)・公事清明祭(シーミー)

7(月)・中学校入学式

8(火)・小学校入学式

9(水)・幼稚園入園式

我が家のニューフェイスです。
よろしくね
東江 星音 せおん くん
長男
平成26年1月18日生
父…和彦 母…由美